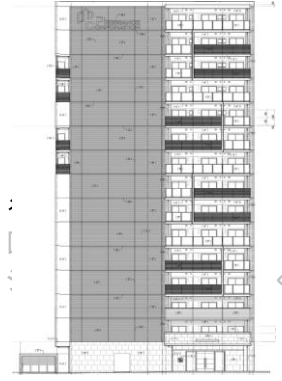


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価者版(2016年版、名古屋環境経済大学環境学研究所環境学研究室) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス大須一丁目(2404-1)新築工事	階数	15
建設地	愛知県名古屋市中区大須一丁目2404番1	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年5月20日
敷地面積	464 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	188 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月24日
延床面積	2,311 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE 0.8**

★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.9**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア=3.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア=3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.2

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア=2.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 耐用年数が高い材料を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱性能の高い材料を使用している。	LR2 資源・マテリアル ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮している。	LR3 敷地外環境 屋上広告を一切なくし、公害対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンス大須一丁目(2404-1)新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2  
 ■評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				2.3
LR1	エネルギー	2.3	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				3.1
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 2.3



#### 2. 自然共生

評価点 = 1.3



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。